

【特殊部】

技術公募の対象とする技術

- ・低コスト化に資する材料等を用いた技術
- ・特殊部（地上機器柵、分岐柵、接続柵：Ⅰ型、Ⅱ型）への適用が可能である技術（蓋のみを対象とした技術は除く）
- ・歩道部、車道部、または民地等へ設置が可能な技術

リクワイヤメント内容の記載の留意点

※「必須事項」の欄は必ず、「その他」の欄は任意で記載してください。

なお、「その他」の欄に記載する内容がない項目は、「実施なし」、「実施データなし」等を記載してください。

○リクワイヤメント【特殊部】

項目	内容	備考
技術名		
副題		
開発者		
NETIS番号		NETIS登録は、応募の必須条件ではありません。
NETIS登録名称		
技術の概要	本技術の開発の主旨や技術の優位点 既往の技術と比較した優位点 など	

項目	確認事項	根拠資料例	備考	
必須事項 技術基本情報	A-1 外観	外観の確認	外観イメージ写真 等	
	A-2 材料の種類	使用している材料の明示	使用材料の説明資料	
	A-3 使用環境	本技術適用の場合の環境条件 周辺環境への影響等、特別な配慮すべき条件	温度条件、環境条件の説明資料 周辺環境への影響に関する説明資料	・温度条件等、配慮すべき事項があれば明示 例1：適用温度範囲〇℃～〇℃ 例2：酸性、アルカリ性環境への適用等 ・周辺環境に及ぼす影響に関して特記すべき事項があれば明示
	A-4 寸法・形状	カタログ等に示された製品の寸法・形状等の明示	代表的な製品の寸法・形状を一覧表にして明示 必要に応じて、構造図を提示	A-4、A-5、A-6をまとめて一覧表に明示することも可
	A-5 重量	代表的な製品の重量、部品の個別の重量	代表的な製品の重量を一覧表にして明示 必要に応じて、構造図を提示	
	A-6 価格	代表的な製品の材料費、施工費の明示 単位容積あたりの単価の明示	材料費は、単位内部収容空間容積あたりの単価（内部の収容空間の容積および機能に応じた製品の価格を示す。） 施工費は、1基あたりの施工単価	（単位内部収容空間容積あたりの単価について） 例えば、内空断面（幅1200mm×高さ1350mm×長さ3000mm）の特殊部製品が100万円、施工費が10万円であれば、単位容積あたりの材料単価は205,760(円/m ³)となる。 施工単価は100,000(円/基)となる。
	A-7 複合構造の構成	RC構造、UFC製、REC製 等の複合構造の構成	複合構造の構成の説明	鉄筋コンクリート（RC）のような複合材料として荷重を負担する構造、あるいは超高強度繊維補強コンクリート（UFC）やレジンコンクリート（REC）のような単一のマス材料で圧縮・引張の両荷重を負担する構造、シェル構造+被覆保護材など、主として力学的な意味での複合構造の構成を明示

リクワイヤメント内容の記載の留意点

※「必須事項」の欄は必ず、「その他」の欄は任意で記載してください。

なお、「その他」の欄に記載する内容がない項目は、「実施なし」、「実施データなし」等を記載してください。

	要求性能	設計条件		評価指標	根拠資料例	備考
必須事項	歩道部へ適用が可能である	B-1	設計荷重：T-25 (1輪50kN) 衝撃係数：i=0.1	設計荷重に対して耐えられること	設計計算書 ※	・材料や構造が特殊な場合、別途個別に検証が必要となる場合がある。 ・材料や構造が特殊な場合にも、従来の材料・構造を用いた場合と同等の安全余裕（安全率）を確保した設計を行う。
	車道部へ適用が可能である	B-2	設計荷重：T-25 (1輪100kN) 衝撃係数：i=0.4 (土被り1m未満とする)	設計荷重に対して耐えられること	設計計算書 ※	・材料や構造が特殊な場合、別途個別に検証が必要となる場合がある。 ・材料や構造が特殊な場合にも、従来の材料・構造を用いた場合と同等の安全余裕（安全率）を確保した設計を行う。
	民地部へ適用が可能である	B-3	設計荷重：5kN/m ² (群衆荷重)	設計荷重に対して耐えられること	設計計算書 ※	・材料や構造が特殊な場合、別途個別に検証が必要となる場合がある。 ・材料や構造が特殊な場合にも、従来の材料・構造を用いた場合と同等の安全余裕（安全率）を確保した設計を行う。
	※設計計算書について B-1、B-2、B-3のいずれかを選択し、以下の仕様の設計計算書を提出 ・内部の収容空間の断面：特殊部Ⅰ型 [幅1200mm×高さ1350mm×長さ3000mm]、 特殊部Ⅱ型 [幅750mm×高さ1100mm×長さ1500mm] ・蓋の仕様：歩道部および民地部 [鑄鉄蓋の角蓋（全面開放型）]、車道部 [鑄鉄蓋の丸蓋]					

	要求性能	確認事項		評価指標	根拠資料例	備考
必須事項	低コスト化技術である	B-4	上記の内空断面（Ⅰ型およびⅡ型）の特殊部の従来技術とのコスト比較	低コスト化技術であること	コスト比較計算書	
	効率的に設置できる	B-5	上記の内空断面（Ⅰ型およびⅡ型）の特殊部設置状況	効率的に施工（設置）できること	設置手順書	軽量の材料で構成され、小さな重機、スペースなどで施工できるなど、工期、道路交通の軽減などについて明示

	要求性能	確認事項		評価指標	根拠資料例	備考
その他	使用材料の特性が明らかである (材料情報)	C-1	使用材料の強度、物理的特性 等	—	以下の試験結果等 ・引張強度試験 ・圧縮強度試験 ・曲げ強度試験 ・弾性係数試験 ・その他の強度試験 等	
		C-2	耐久性	—	以下の試験結果等 ・耐薬品性試験 ・その他の耐久性試験 等	長期信頼性に関する試験結果があれば明示
		C-3	耐燃性	—	以下の試験結果等 ・耐燃性試験 等	
		C-4	耐熱性	—	以下の試験結果等 ・加熱圧縮試験 等	
	設置、施工品質が確かであること ケーブルを収納できること (施工性)	D-1	設置手順	—	自社の施工マニュアル 施工フロー 等	
		D-2	管路の特殊部への接続方法	—	自社の施工マニュアル 等	
		D-3	管路と特殊部の接続部分の性能	—	以下の確認試験結果等 ・接続部が抜けにくいこと ・接続部が変形追従性を有していること ・特殊部の側面部にも管路を接続できること 等	
	維持管理がしやすいこと (維持管理性)	E-1	特殊部函体の点検方法	—	自社の点検マニュアル 等	
		E-2	特殊部の函体自体の交換、増設、撤去の方法	—	自社の施工マニュアル、点検マニュアル 等	
		E-3	LCCの縮減	—	当該製品を使用した場合の50年のLCCの従来製品との比較	※技術公募後に、各応募技術を参考に、別途共通の条件を設定し、提出を求める予定です。
その他の技術の特徴	F-1	その他の技術の特徴	—	その他のPRしたい特性、留意事項等の項目があれば明示	※根拠と合わせて提示	

	要求性能	確認事項		評価指標	根拠資料例	備考
その他	特許・実用新案など	G-1	有無及び特許番号等	—	特許等を取得している場合、公開特許公報のフロントページ（特許番号、発明の名称が記載されているページ）のみコピー添付	(参考情報)
	第三者評価・表彰等	G-2	有無及び証明番号等	—	審査証明・技術評価等を取得している場合、公的機関の評価等のコピー添付 表彰経歴がある場合、賞状等のコピー添付	(参考情報)

要求性能	確認事項		評価指標	根拠資料例	備考
実績等について	G-3	実績のある場所、規模、時期等	—	実績表	(参考情報)

G-1～3の内容等についてはWG委員及び事務局限りとし、公表する技術比較表には掲載しません。

(注) 備考に(参考情報)と書かれた項目は、当該技術の特徴を整理する際の参考にするので、関連する項目について記載願います。